

# 和牛産肉能力直接検定成績（2006年度）

砂川隆治 運天和彦 山城存 比嘉直志  
蝦名真澄

## I 緒 言

沖縄県畜産研究センターでは、種雄牛候補牛の産肉能力評価のため和牛種雄牛産肉能力検定（直接検定法）を実施している。2006年4月から2007年3月末までに検定を終了した種雄牛候補牛の成績について取りまとめたので報告する。

## II 検定牛および検定方法

検定牛は、肉用牛群改良基地育成事業により生産された子牛から、産子調査により選抜された16頭の雄子牛である。

検定牛の概要を表1に示した。検定牛の父と母方祖父の組み合わせは、晴美系×気高系が3頭、晴美系×糸桜系が2頭、気高系×気高系が1頭、気高系×晴美系が2頭、気高系×糸桜系が3頭、気高系×田尻系が5頭であった。

検定は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定（直接検定法）<sup>1)</sup>に基づき実施した。直接検定法とは、種雄牛候補となる7～8カ月齢の雄子牛を単房式牛房にて112日間飼養し、増体量や飼料要求率等を調査、その成績に基づき選抜する方法である。検定期間中の飼料給与は、粗飼料として乾草を飽食給与し、濃厚飼料の給与は朝夕の2回で、1日の給与量は適正な育成管理となる範囲でおおむね体重比1.0～1.5%を目安としている。

表1 検定牛の概要

No.	名 号	生年月日	血		統		生産地
			父	母	母方祖父	母方曾祖父	
1	奈 菜 邦	'05. 6. 26	勝 海 邦	な な こ	福 栄	北国7の8	伊 江 村
2	光福1の50	'05. 7. 9	勝 海 邦	あ す か 3	神 高 福	糸 晴	伊 江 村
3	北 晴	'05. 7. 18	晴 姫	た け く に	北国7の8	紋 次 郎	伊 江 村
4	第2勝海邦	'05. 8. 9	平 茂 勝	か つ こ の 1	忠 福 宝	勝	今 婦 仁 村
5	勝 姫	'05. 9. 21	晴 姫	は つ ね	平 茂 勝	安 波 土 井	石 垣 市
6	紀 邦	'05. 10. 8	勝 海 邦	の り こ	安 平	糸 晴	伊 江 村
7	北 国 邦	'05. 10. 11	勝 海 邦	の り く に	北国7の8	紋 次 郎	伊 江 村
8	桜 海 邦	'05. 10. 18	勝 海 邦	さ く ら こ	福 桜	糸 弘 2	伊 江 村
9	建 吾	'05. 10. 21	勝 海 邦	こ は る	晴 姫	神 高 福	石 垣 市
10	勝 北	'05. 10. 26	勝 海 邦	ふ じ や す	北国7の8	安 波 土 井	今 婦 仁 村
11	清 華	'05. 10. 27	勝 海 邦	み や ざ き き よ か	安 平	糸 福	伊 江 村
12	伊 野 5 3	'05. 10. 28	勝 海 邦	ひ と み の 1	晴 姫	安福165の9	今 婦 仁 村
13	桃 華	'05. 11. 25	晴 姫	も も か	第20平茂	安 福	伊 江 村
14	勝 姫	'06. 1. 4	晴 姫	ま あ が れ っ と	平 茂 勝	紋 次 郎	伊 江 村
15	北 姫	'06. 2. 15	晴 姫	こ き ち	北国7の8	紋 次 郎	伊 江 村
16	北 海	'06. 2. 28	勝 海 邦	あ り さ	北国7の8	安 波 土 井	伊 江 村

### Ⅲ 検 定 成 績

検定成績は、表2に体重およびDG、表3に飼料要求率および体型評点を示した。各調査項目の平均値は、開始時日齢244.1日、開始時体重258.2kg、終了時体重379.9kg、180日補正体重198.6kg、365日補正体重389.2kg、1日当たり増体量(DG)1.09kg、粗飼料摂取率54.5%、各飼料要求率は濃厚飼料3.56、粗飼料4.27、可消化粗蛋白質(DCP)0.68、可消化養分総量(TDN)4.69である。

DGについては、北晴の1.40kg、光福1の50の1.30kg、桃華の1.28kgが優れている。

365日補正体重については、奈菜邦の447.1kgが最も優れており、勝北の333.2kgが最も劣っている。

飼料要求率(TDN)については、桃華の3.86、北姫の3.93が優れ、勝北の6.03が最も劣っている。

16頭の平均値を2005年度の全国平均値<sup>2)</sup>と比較するとDGで0.02kg劣っている。

表2 検定成績(体重およびDG)

No.	名 号	開始時 日 齢	体 重 (kg)				終了時 DG (kg)	体高(cm)	備考
			開始時	終了時	180日補正	365日補正			
1	奈 菜 邦	243	299	435	230.6	447.1	1.21	127.0	○
2	光福1の50	251	268	414	202.9	416.6	1.30	124.0	
3	北 晴	242	235	392	182.5	407.4	1.40	123.0	
4	第2勝海邦	248	261	400	197.1	406.2	1.24	125.0	◎
5	勝 姫	253	234	344	175.1	344.0	0.98	118.0	
6	紀 邦	236	225	325	178.7	340.1	0.89	118.0	
7	北 国 邦	233	251	368	200.7	388.8	1.04	122.0	○
8	桜 海 邦	247	310	416	234.0	421.7	0.95	123.0	○
9	建 吾	244	270	398	206.5	408.3	1.14	122.0	○
10	勝 北	239	241	323	188.9	333.2	0.73	116.0	
11	清 華	238	262	366	205.5	380.0	0.93	122.0	
12	伊 野 5 3	237	236	344	186.5	359.4	0.96	120.0	
13	桃 華	238	268	411	210.0	430.2	1.28	124.0	
14	勝 姫	254	271	384	202.2	383.0	1.01	122.0	
15	北 姫	258	240	370	176.5	364.5	1.16	122.0	
16	北 海	245	260	388	199.5	364.2	1.14	116.0	
平 均 値		244.1	258.2	379.9	198.6	389.2	1.09	121.9	
標準偏差		7.2	23.5	33.4	17.3	33.8	0.18	2.98	
全国平均値		—	—	—	—	—	1.11		

注1) 全国平均値は2005年度(262頭)の平均値

2) ◎は2006年度産肉能力後代検定の実施牛として選抜

3) ○は2007年度産肉能力後代検定の候補牛として選抜

表3 検定成績(飼料要求率および体型評点)

No.	名号	粗飼料摂取率 (%)	飼料要求率(%)				体型評点	備考
			濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN		
1	奈菜邦	51	3.89	4.07	0.71	4.82	83.1	○
2	光福1の50	50	3.54	3.49	0.63	4.27	82.3	
3	北晴	51	3.35	3.42	0.60	4.11	82.9	
4	第2勝海邦	55	3.32	4.00	0.63	4.38	83.4	◎
5	勝姫	54	3.88	4.64	0.74	5.10	82.2	
6	紀邦	50	4.24	4.17	0.76	5.12	80.4	
7	北国邦	54	3.65	4.26	0.69	4.74	81.9	○
8	桜海邦	57	4.04	5.36	0.79	5.58	83.1	○
9	建吾	57	3.34	4.42	0.66	4.61	80.7	○
10	勝北	57	4.40	5.73	0.86	6.03	80.5	
11	清華	55	4.10	4.91	0.78	5.39	81.1	
12	伊野53	58	3.33	4.63	0.67	4.71	80.6	
13	桃華	56	2.85	3.63	0.55	3.86	82.4	
14	勝姫	60	2.75	4.13	0.57	4.05	82.3	
15	北姫	53	3.08	3.44	0.57	3.93	81.8	
16	北海	56	3.14	4.02	0.61	4.27	81.4	
平均値		54.5	3.56	4.27	0.68	4.69	81.9	
標準偏差		3.1	0.49	0.67	0.09	0.63	1.00	
全国平均値		—	—	—	0.60	4.41	—	

注1) 全国平均値は2005年度(262頭)の平均値

2) ◎は2006年度産肉能力後代検定の実施牛として選抜

3) ○は2007年度産肉能力後代検定の候補牛として選抜

これらの検定牛のうち、平成17年度第3回沖縄県肉用牛改良協議会専門委員会において、2006年度産肉能力後代検定実施牛(試験種付けを行う)として第2勝海邦(勝海星へ改名)を選抜した。

また平成18年第3回沖縄県肉用牛改良協議会専門委員会において、2007年度産肉能力後代検定候補牛として、奈菜邦、北国邦、桜海邦、建吾を選抜した。

#### IV 引用文献

- 1) 社団法人全国和牛登録協会(2005)和牛登録事務必携, 57-65
- 2) 社団法人全国和牛登録協会(2006)和牛種雄牛産肉能力検定成績, 4

検定補助：又吉博樹